INFORMATION & OTHERS

タイトル & ランキング争い +3 のポイントバトルに注目

6月3〜4日に行われた第3戦以来となる今季2度目の全日本。初夏のレースは、さあここからどうなる ??って感じでしたが、秋の SUGO はいわゆる泣いても笑ってもなシーズン最終戦。まずはクライマックスを迎えたチャンピオン争いに注目してください。…と言っても IA1 クラスはすでにジェイ・ウィルソン選手が第7戦 HSR 九州大会で昨年の IA2 に続き早々とタイトルを決定。更に IB OPEN クラスも住友睦巳選手のチャンピオンが確定したので、残るは IA2 と LMX …なんですが、実はランキング争いは最後の最後まで熾烈なんです。特に今大会は GP ポイント +3 が加算されます。前のページのランキングを見ていただくと分かりますが、ようやく1ポイントを手にしたライダーたち実は少なくないですよね。今回は15位に入ると4ポイント加算出来ちゃうので、ここまで頑張って積み重ねたポイントを一気にジャンプアップさせることが可能。最後の最後に順位が大きく入れ替わって、来年のゼッケンや IB OPEN だったら昇格を左右する可能性すらあるわけです。当然みんな気合いが入ってます。トップ争いだけじゃなく、10〜20位のバトルにも注目してください。

ゼッケンは白地が IA1、黒字が IA2、青が IB... なんですが、レディースも白地だし、よく見たら IA1 にも IA2 にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ10のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

そしてよく見ると、黒ゼッケン IA2 には 02〜09 のライダーがいますよね。彼らは今年 IA クラスに昇格したルーキーたち。開幕から先輩ライダーの胸を借りてなんとか A 級の速さに慣れてきたとは言え今シーズン最後のレースにみんなドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。スタート前の選手紹介やサイティングラップの時に、落ち着いて頑張れよって大きな声で励ましてあげてください。

今回観戦されるお客さんの中にも初めて観戦する方、今シーズン初観戦という方が少なからずいらっしゃるはず。全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでくださいね。

最初は間近で見れる印象を感じてもらえればいいと思うんです。様々なモータースポーツ競技の中で、予選レースからの横一線のスタートは、モトクロスだけだと言われています。1コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーはアクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ〜ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦すると、レースの展開が良く分かると思います。

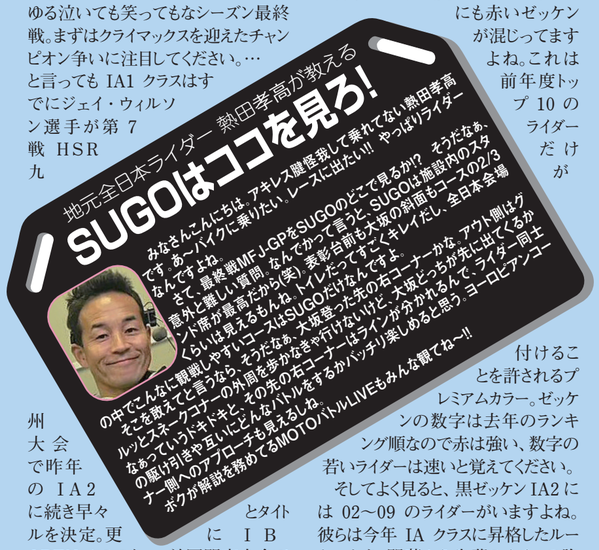
スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

もちろん表彰式は両日お客さんに解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下に QR コードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アクシデントにアクセスできるはずです。

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、IA ライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、特に子供さんは何人分ゲットできるか尋ねて回ったら楽しそう。左下の写真は毎戦大会毎のスペシャルバッジを用意しているジェイ選手。6月は伊達政宗バージョンでしたが、果たして今回は !?

コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探すも良しスタンド席に陣取るも良し。お昼休みには第1パドックでステージイベントが行われます。スタート裏に並んだメーカーブースや出店ブースもぜひご覧になってください。



idemitsu
IA2 #71 ヌフォン・ソムサワット:2023 FMSCTタイMX2-Aチャンピオン
IB OPEN #93 アティソン・ルアドレオ:2023 FMSCTタイMX2-Bチャンピオン
JX85 #13 アランチャイ・プラヨーンラート:2022 FMSCTタイ65U12チャンピオン
この度3名のタイ選手がMFJ-GPに参加するに当たり、FMSCT(タイ・モータースポーツクラブ連盟)会長:トンチャイ・ウォンサワン、タイで54年間にわたり出光潤滑油の販売代理店を務める ApolloThai CEO:タナサック・ワハウィサン、サハルアン製糖所とシンソンファン・ムクダハン、Racing Team TAKAのマネージャー:高木雄一氏、そして30年以上に渡るMFJとFMSCTの素晴らしい協力関係に、心より感謝申し上げます。

シーズンオフも LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの情報や画像をお手元のスマホやタブレットに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年も LINE 公式アカウントを使って配信しています。料金は基本タダ(笑)。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

お客さんがレースを楽しんでくれることがライダーのハッピーに繋がるはず。そう思って続けてきたこのフリーペーパーですが今シーズンもなんとか完走出来ました。ライダー、関係者、観客の皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました !!

MXING & MC Square 木田 淑

実績が証明する「かわす性能」の大切さ。
Arai Racing Specialities
V-CROSS4 WHITE
かわす性能
https://www.arai.co.jp/

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

suspension service Technix
WWW.technix.jp

制作・発行/MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-3-5-1409
Tel. & Fax. 03-3522-2278
E-mail: kida@mxing.com
HP:https://www.mxing.com
出力・印刷/東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:https://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行 無料

PREVIEW-Sports Land SUGO

抜群のスタートダッシュを見せた#41トレイ・カナード+CR ELECTRIC PROTOをチャンピオンの意地とプライドでねじ伏せた#27ジェイ・ウィルソン。シーズン有終の美はなるか!? *Photo/K.Kida*

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ2023 第9戦MFJ-GPは、11月11〜12日に宮城県柴田郡村田町のスポーツランドSUGOインターナショナルモトクロスコースで開催される。九州熊本を皮切りに10年ぶり開催となった北海道千歳まで、6会場9戦で行われてきた今年の全日本。タイトル争いが最後までもつれ込んだIA2とLMXにももちろん注目。秋の気配が深まる中、シーズンを締めくくる伝統の戦いでヒーローとなるのは果たして誰だ!?

白熱のバトルで盛り上がろう!
1.トップライダー&地元選手をチェック!
2.お気に入りのライダーを一人見つける!!
3.モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4.頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

タイトルを決めたジェイvs.日本のトップライダーたち!?

昨シーズンの IA2 クラスに続き、国内最高峰クラス IA1 でも早々とタイトルを決めた**ジェイ・ウィルソン**(#27/ヤマハ)。前回関東大会では特別参戦したホンダの電動モトクロッサー CR ELECTRIC PROTO を駆る**トレイ・カナード**(#41)を迎え撃ち、第2ヒートでは両者が接触転倒するほどレースが白熱。このアクシデントで開幕から続いた連勝記録こそ途切れたものの、8戦連続の総合 V、今季20勝目をマークし全日本チャンピオンとしてのプライドと実力とを見せ付けた。

圧倒的な実力で快進撃を続けてきたジェイが最終戦を制して有終の美を飾るのか、それとも辛酸を舐めてきた日本のトップライダーたちが意地を見せるのか、国内最高峰クラスのハイレベルな戦いに注目したい。

中でも注目を集めるのが、前回関東大会でクラッシュに巻き込まれ不本意な結果に終わった昨年のチャンピオン**富田俊樹**(#1/ヤマハ)を捉えてランキング2番手に浮上した**大倉由揮**(#6/ホンダ)と僅差で大倉をマークする**内田篤基**(#8/カワサキ)だ。富田の背後には**大城魁之輔**(#4/ホンダ)も迫っており、MFJ-GP ならではのボーナスポイントを上手く手に出来れば、逆転の可能性も十分にある。

ランキングアップを狙うのは彼ら若手だけではない。ここ1番のスピードに定評がある**能塚智寛**(#2/カワサキ)が前回腕を負傷し戦列離脱を強いられたのは気がかりだが、その一方で怪我からの復帰戦でいきなり今季日本人初優勝という快挙を達成した**星野優位**(#9/ヤマハ)。同じく怪我を乗り越えて地元での最終戦に照準を合わせてきた**渡辺祐介**(#4/ヤマハ)、**大塚豪太**(#7/ホンダ)や**安原 志**(#13/カワサキ)、ベテランの**小島庸平**(#10/ホンダ)や**小方 誠**(#5/ホンダ)らの活躍にも期待したい。

ビクトルを捉えられるか 横澤が逆転を狙う IA2

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなった**ジェイ・ウィルソン**が IA1 クラスにステップアップしたことで王者不在となった IA2 クラス。迎えた開幕戦は予想通りの混戦となり、**西條悠人**(#8/カワサキ)、**中島漱也**(#4/ヤマハ)、新たにチャレンジしてきたスペインの若手**ビクトル・アロンソ**(#58/ヤマハ)の3人が初優勝を分け合った。

しかし第2戦関東、続くSUGOと連勝したビクトルがポイント争いをリード。第4戦中国大会では**池田 凌**(#18/カワサキ)、続く第5戦北海道大会では**横澤拓夢**(#5/ホンダ)、第6戦近畿大会では**鴨田 翔**(#9/カワサキ)と横澤、第7戦九州では中島と池田が優勝を分け合い、若いビクトルを脅かした。

ビクトルの優位に変わりはないが、何が起きてもおかしくないのがモトクロス。逆転のチャンスを伺う横澤や日本のライバルたちの奮起に是非とも期待したい所だ。

川井vs.本田の直接対決 勝って最後に笑うのは!?

ここまで**川井麻央**(#2/ホンダ)が4勝、**本田七海**(#4/ヤマハ)が2勝とチャンピオン経験を持つ両者がランキング3番手以下を大きく引き離し、僅差でのチャンピオン争いを繰り広げてきたレディースクラス。

泣いても笑っても残り1レース。勝った者が栄冠を手にするのは間違いないが、タイトル決定戦には常に緊張と波乱が付きもの。**箕浦未夢**(#9/ホンダ)や**瀬尾柚姫**(#8/ホンダ)、**濱村いぶき**(#17/ホンダ)らも間隙を突いての優勝を狙っているはずだ。川井と本田がどんなドラマを見せるか見守りたい。

住友睦巳(#53/ヤマハ)がタイトルを決めた IB OPEN は IA 昇格がかかるポイント争いに注目。また今回 IA2、IB OPEN、ジュニアの各クラスにタイのチャンピオンがスポット参戦しています。プログラムを参考にぜひ応援するライダーを見つけてくださいね。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月 8〜9日	熊本県/HSR九州
第2戦	関東大会	5月 13〜14日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	6月 3〜4日	宮城県/スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	6月 24〜25日	広島県/世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	北海道大会	7月 30日	北海道/新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 9〜10日	奈良県/名阪スポーツランド
第7戦	HSR九州大会	10月 8日	熊本県/HSR九州
第8戦	関東大会	10月 28〜29日	埼玉県/オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	11月 11〜12日	宮城県/スポーツランドSUGO

D.I.D® 全日本モトクロス選手権 第9戦 MFJ-GP大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果(決勝スターティンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。